

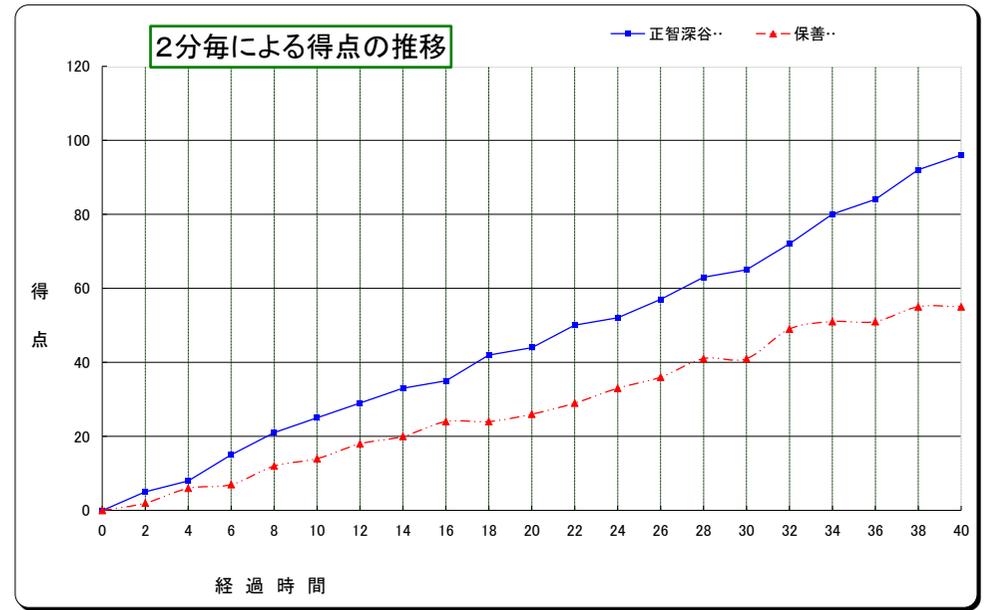
平成28年度第70回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会

平成28年6月4日(土)
深谷ビッグタートル
Aブロック1回戦

チームA 正智深谷 (埼玉)	96	{	<table border="0"> <tr><td>25</td><td>1st</td><td>14</td></tr> <tr><td>19</td><td>2nd</td><td>12</td></tr> <tr><td>21</td><td>3rd</td><td>15</td></tr> <tr><td>31</td><td>4th</td><td>14</td></tr> </table>	25	1st	14	19	2nd	12	21	3rd	15	31	4th	14	}	55	チームB 保善 (東京)
25	1st	14																
19	2nd	12																
21	3rd	15																
31	4th	14																

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	山口 颯斗	23	2	5	8	13	1	3	1	5	2	1	1	4	2
5	中島 修平	5	0	0	2	3	1	2	1	0	2	0	0	0	1
6	角田 憲信	8	0	0	4	5	0	0	2	0	2	1	1	0	0
7	増田 英寿	21	0	0	8	18	5	9	0	5	3	2	0	0	1
8	山口 大成	8	0	1	4	5	0	0	3	2	4	0	3	1	3
9	常田 耕平	15	0	2	7	9	1	1	3	3	6	1	2	0	0
10	中村 吏	2	0	0	0	0	2	2	0	0	2	1	0	0	1
11	野元 啓太郎	6	0	1	3	6	0	2	0	0	3	2	4	0	2
12	川口 颯太	0	0	2	0	4	0	0	1	1	1	0	3	1	2
13	田中 翔真	3	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	阿久津 瞬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
15	渡邊 圭吾	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
16	國分 大雅	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
17	早川 竜生	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	勝山 大輝	3	1	2	0	0	0	0	0	1	3	1	1	0	0
コーチ	成 田 靖									1	4				
		96	4	14	37	67	10	19	11	18	32	10	17	6	13
		確率	28.6%		55.2%		52.6%			計 50					

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	山越 一生	18	3	6	4	11	1	2	0	1	4	2	0	0	6
5	藤原 叶夢	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
6	高橋 正樹	3	1	6	0	4	0	0	2	0	0	0	1	0	0
7	二ノ宮杉太郎	4	0	0	1	6	2	2	5	2	1	0	0	0	1
8	大島 歩	2	0	0	1	4	0	0	1	1	0	0	0	0	0
9	諸室 蓮	8	0	0	4	8	0	0	0	2	2	1	3	0	2
10	宮本 大輔	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	山田 夏輝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
12	佐藤 榮	2	0	1	1	2	0	0	2	1	2	0	1	0	2
13	関 智也	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0
14	林 裕輔	18	0	0	8	15	2	3	5	3	8	1	0	0	3
15	渡辺 健一	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	照井 旭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	常山 千尋	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	1	0	0	1
18	溝田 翔	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コーチ	真 部 貴 之								1	3	6				
		55	4	14	19	53	5	7	18	15	25	5	6	0	16
		確率	28.6%		35.8%		71.4%			計 40					



戦評

第1Q、両チームともハーフコートマンツーマンでスタートする。序盤は両チームともに1対1と高さを生かしたゴール下を中心に得点していく。しかし、正智深谷の激しいディフェンスと的確なタイミングのダブルチームが保善を苦しめ、徐々に正智深谷のスチールからの得点が増えていく。保善は#14がオフェンスリバウンドを頑張るが、ゴール下を中心に得点していくが、点差は広がり正智深谷ペースで第1Qを終了する。

第2Q、両チームとも変わらずハーフコートマンツーマンでスタートする。保善はドライブインから得点を試みるが、正智深谷の的確に対応するヘルプディフェンスに苦しめられターンオーバーが増えいき得点の伸びない。正智深谷は激しいディフェンスからの速攻と1対1で得点を重ねていき、点差がひらき第2Qを終了する。

第3Q、前半と同じく両チームともにハーフコートマンツーマンでスタートする。保善は第3Q序盤、#4と#6が思い切りの良い3pシュートが決め、チームに勢いをつける。しかし、保善は正智深谷の激しいディフェンスからの速攻を止められない。また、正智深谷は残り5分に190cm台を3人にしてオフェンスリバウンドを制し、ゴール下で確実に得点を重ねていき、点差をさらに広げて第3Qを終了する。

第4Q、意地をみせたい保善は、#9の1対1を中心に得点を重ねていくが、正智深谷の激しいハーフコートマンツーマンを攻略することができない。最後まで走り抜いた正智深谷が2回戦進出を決めた。

記録者: 村田 洋佑